

G

”支える技術”ジー・エクス・パイルの三誠がお届けするインフォメーション・ペーパー。

-ECS NEWS

編集・発行人／高橋 進 発行所／株式会社 三誠 ジー・エクス・パイル事務局 本社〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-3 箱崎公園ビル6F
TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162 ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>

2008 Jan Vol.5

三誠
2008年
の志し激動の2007年を終えて、気持ちも新たに
三誠は今年もチャレンジを続けます。改正基準法に則り、
業界の発展に貢献します。あけましておめでとうございます。
G・ECS ニュースも今回で5号目
となり、2度目の新年号を発刊する
にいたしました。皆様ご存知のとおり昨年は6月
に改正建築基準法が施行されまし
た。確認申請の作業遅れから着工
数が大幅に減り、建築業界は極冬の
吹雪の中に立たされたような厳しい
年となりました。もちろん弊社も大
きくその影響を受けましたが、当初
の予想より立ち上がりが早く大幅
な沈みもなく推移することができ
ました。これもひとえに、お客さまの
ご指示の賜物と弊社社員の地道な
努力、そこに国土大臣認定工法の
商品力が加わった結果だと考えて
おります。今後は建築業界全体の冷え込み
が社会問題へと波及し、日本経済全
体に影を落とすことが予想されてい
ます。しかし今回の法改正の趣旨は
社会的要請であり至極当然の改正
だと弊社では捉えています。改正基
準法に則り、コンプライアンスとモラ
リティーを第一義として技術の研
究に努めることで、社会の建築技術
に対する信頼回復の一助となるよう
な仕事をしていきたいと考えていま
す。

Moral (モラル)

業界全体の信頼回復に寄与

Quality (品質)

製造品質と施工品質の向上



Try (挑戦)

斬新な製品や技術の開発と改良

Ardor (熱心)

すべての案件に対する姿勢

若い力を推進力に、
三誠は前進します。2007年は「俊敏」を合言葉に、
大企業にはないスピードで小回
りの効いた対応に努めてまいりまし
た。第一次経営5ヶ年計画の5年目
を迎える本年度は「熱心」を合言葉
として設定いたしました。弊社の理
念である「誠心」「誠意」「誠実」を
基本に、あくまで地道にですが、若い
会社を持つ「熱心」のあるパワーを活
して今まで以上にお客さまに喜ん
ただけるような斬新な取組みをやっ
ていけるよう努力いたします。試行錯誤を続けながら、
実りある活動をいたします。昨年は杭頭に取付けることで杭
基礎の安全性と信頼性を高める
ECS キャップの開発や、G・ECS
パイルの杭先端の溶接全自動化によ
る製造品質の向上を図るなど、精
力的に開発の取組みを行ってまいり
ました。2008年もその姿勢に
変わりはありません。

三誠の若手社員たち

会社は例えるなら
お神輿です。全員
が力を合わせて、やっ
と前に進むものです。
弊社には現在30名
以上の社員がいま
すが、皆が一丸とな
り会社という神輿
を前に進めています。
これから、若い力
を中心に全員の意
思をひとつにして、
新しい商品や技術
を開発しお客さま
にお届けいたします。
本年度も三誠の取
組みに期待してく
ださい。応出来るようにいたします。また、
品質については製造品質・施工品質
の両面から品質向上に取り組みます。
ECS キャップに属する杭頭の研究
も継続して行っていく考えです。

施工高 4.0m から施工可能

平成20年1月末にh=3.8mのリーダー
を導入いたします。本機はDHJ-12
に対応していますのでφ114・3
φ267・4の杭が上空制限4.0m
の条件下で施工可能になります。

第一次経営5ヶ年計画で躍進を

第一次経営5ヶ年計画の5年目を
迎える本年度は年間1000t、
年商40億を目指します。改正建築
基準法の影響を乗り越え躍進を続
ける施策が「経営計画発表会」にて
全社員に発表されました。

改正基準法施行後の状況

昨年の法改正以来、建築着工件数
が激減しています。対前年比23%
↓44%減・マンションにいたっては70
%減と業界が低迷する中、皆様
のご協力もあり弊社は昨年11月時点
で回復基調に乗ることができました。
1月の受注数は対前年を上回る見
通しにあります。(株)三誠安全協力会主催
安全大会開催昨年11月17日・18日、(株)三誠安
全協力会主催の安全大会が行われ、
17社30名のご参加を頂きました。
会長より製造品質・施工品質向上
に対する重要性が話され、弊社社
長からは業界の苦戦状態を一段の団
結で乗り切ろうとの呼びかけがあ
りました。

Topics

トピックス

G-ECS PILE。さまざまな条件下で、最良のソリューションとして採用されています。

G-ECSパイル

東京都中央区Sビル新築工事

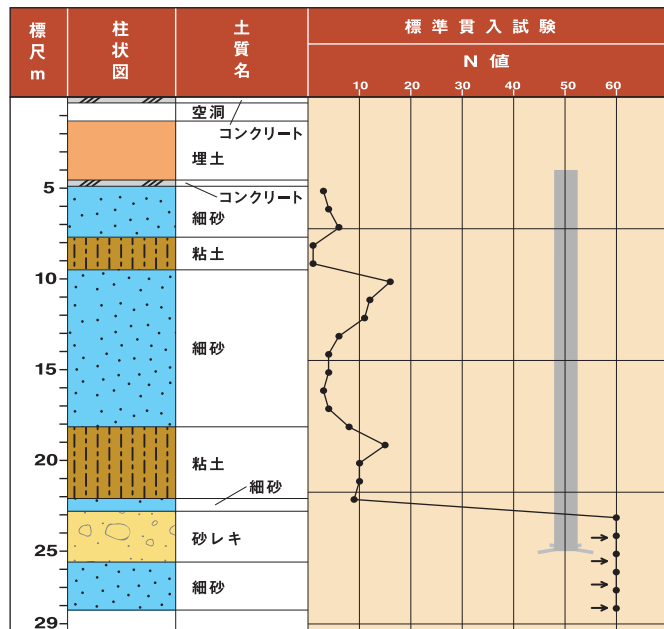
汎用性の高さで土地の資産維持への有益さが決め手。

6階建ビルの本物件は、ビルとビルに挟まれた間口3.6m、奥行き17.0mという施工が困難な敷地であったため前歴のビルの地下1階の外周壁を山留に利用して建設しました。また、杭長が最大施工深さ(130Dp)を超えており、急速載荷試験を行い耐力を確認しました。杭打施工した機械で杭抜きができるなど、土地の資産価値維持に有益なこともG-ECSパイル工法が採用された理由です。

【施工年月日:平成18年7月26日～平成18年8月11日】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	東京都中央区Sビル新築工事	杭の種類	φ165.2 t=7.1 22m (6+6+6+4) (全てSTK490)
施工場所	東京都中央区日本橋	本数	44本
用途	オフィスビル	杭先端深度	GL-25.03m
構造・階数	S造6階	延床面積	502.8㎡
設計支持力	300kN		
先端N値	60		

G-ECSパイル

新潟県某寺院再建工事

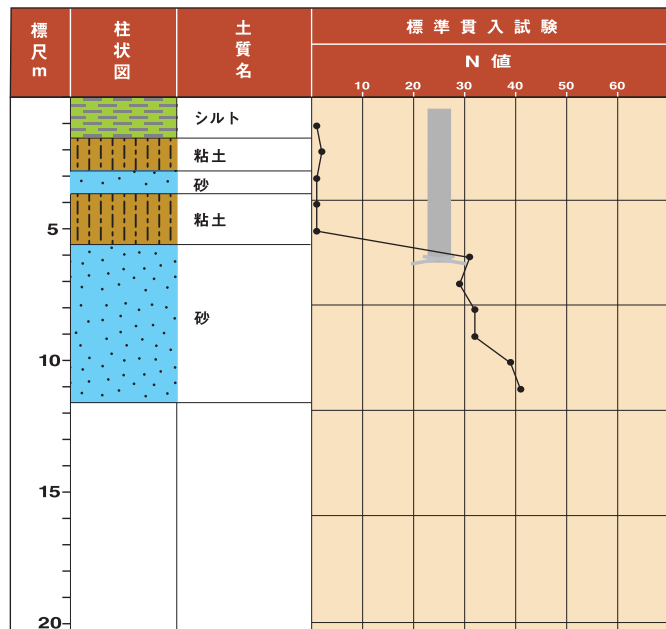
新潟・福島集中豪雨の被災による移転再建工事。

本物件は平成16年7月13日に発生した新潟・福島集中豪雨により損壊した寺院の再建工事です。集中豪雨により、中蒲原郡中之島町の堤防(今町大橋下流側左岸)が破堤したため、河川改修や防災面から同一敷地内での再建が困難となり平成19年3月建設地を中之島流通団地内に移転し再建工事を行いました。6mあたりに支持可能な砂質の層があり工期に遅れもなく当初の予定通り竣工を迎えました。

【施工年月日:平成19年3月15日～平成19年3月16日】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	新潟県某寺院再建工事	杭の種類	φ114.3 t=6.0 6m (STK400)
施工場所	新潟県長岡市	本数	φ165.2 t=7.1 6m (STK400)
用途	寺院	本数	φ114.3/32本
構造・階数	木造1階	杭先端深度	φ165.2/14本
設計支持力	φ114.3/78.8kN φ165.2/166.9kN	延床面積	GL-6.37m
先端N値	25		225.98㎡

株式会社 三 誠
SANSEI INC.

本 社 TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162
北関東営業所 TEL:048-813-6612 FAX:048-813-6615
栃木出張所 TEL:0283-27-1833 FAX:0283-27-1837
群馬出張所 TEL:027-370-1851 FAX:027-370-1852

茨城営業所 TEL:0299-36-7170 FAX:0299-48-0025
新潟営業所 TEL:025-242-2180 FAX:025-242-2183
ホームページ: <http://www.sansei-inc.co.jp>
メールアドレス: info@sansei-inc.co.jp

お問い合わせは、メール info@sansei-inc.co.jp
または、FAX 03-3639-8162 (担当 内田) まで。